

## 質問

# 村産材を使つた施設

## 看板に温もりを

村長

### 新年度予算で対応

#### 施設案内板も含め

について伺う。



【大城戸ツヤ子議員】

### 集住型宿泊交流拠点施設完成後の全体像

**大城戸議員** 昨年8月末の起工式に始まり、6月15日には竣工式を迎えた。この施設は糸余曲折を経て完成したと認識している。この施設を建てた瀬下建設工業は業務停止になつたことを報道で知つた。

①施設稼働率、保証とメンテナンス。  
②コアーティーの看板。  
③施設周辺外観・環境整備

村長 ①4月から8月までの利用者数は3728人で、1日平均24・3人。当初計画に対し、77・8%の達成率となつてゐる。保証については物品や製品毎に保証期間が定められている。元受業者については、不渡りを出して事業停止している状況で、事実上の倒産と聞いている。もし何かあつた場合は、設計業者を通じ相談しながら対応していくといふ。

②現在のものは仮設看板なので、新年度において設置したい。

③今後の環境整備については、当面、必要に応じて修繕等を行いながら維持管理をさせていただきたい。将来的には、周辺を含む全体



集住型宿泊交流拠点施設の仮設看板

計画を作成して、それに基づいて環境整備をすることにより、手戻り工事等が発生しないようにしたい。

**大城戸議員** 村長は、人口減少を解決する切り口の一つ、村の課題を県と一緒に解決するための施設であるとも言つている。しかし、若い人を住ませるという目的があつたにも関わらず、

### 診療所の健全運営

について伺う。

①診療所としての役割（内

科の休診、看護師の3名体制、レントゲン技師不在による歯科医の負担、学校医の役割）。

②各医師の待遇。

③事務手続対応へのスピード感について伺う。

**村長** ①村民の健康維持のため、大変重要な役割を担つてゐると認識しており、3人の医師の方々に一生懸

命頑張つていただいている。

診療時間については、内科が午前9時から午後4時まで、歯科が午前8時半から午後4時まで、月曜日の泌尿器科は午前9時半から午後3時までということで、業者が倒産したのをいつ知ったのか。

村関係者の人たちが住んでいる。これまでの説明で、入居者に対する消防団加入、或いはボランティア活動、助け合いの除雪など、当初の趣旨と目的から逸脱しないよう願つてゐる。村長は、

質問

# 公民館のインフラ整備

## 補助要綱の再考を

避難所になるなど、公民館の在り方も変化しているので、ニーズに合った要綱の改正が必要であると思つて

望のある集落から改修で  
るような状況を作つてい  
たい。

村長

二一ズにあつた要綱に改正したい

めインフラ整備が必要である。

り、これらの各施設の維持運営の向上に努めてきた。

今後、高齢者にも配慮した、使いやすい、そしてニーズに合った補助金交付要綱を改正させていただき、来年度予算に間に合うよう

**北林議員** 村も高齢化が進んでいるので、集落の皆さんのが安心して公民館を活用できるよう考えていただきたい。



【北林義高議員】

## 修を 集落公民館のトイレ改

## 北林議員 各集落の公民館

て」とあり、トイレの改修は対象外となつてゐる。村では、小中学校やトイレなど、和式便器から洋式に改修を進めており、各集落のトイレ改修についても、補助対象として検討さ  
きないか。

村では、小中学校やト

**村長** 村では、これまで集落公民館及び類似施設の維持のために要する経費の一部を村が補助することによ



## 女性警察官による「交通安全」「特殊詐欺」の講話 (大海公民館/H30.2.21)

## 集落公民館補修費補助金の活用実績

実施年度	集落名	補修内容	補助金
29年度	羽立	外壁改修、屋根塗装	1,521,000円
	上仏社	床改修	1,201,000円
28年度	大海	屋根塗装	48,000円
	南沢	壁床改修	423,000円
27年度	下仏社	外壁修繕	1,460,000円
	大林	床及び外構修繕	676,000円
26年度	沖田面	屋根塗装、調理場床補修	1,302,000円
	小田瀬	屋根塗装	386,000円

## 質問

# 高校生を対象に 同様の制度を検討するべき

村長



【伊藤敏夫議員】

子育て世代の支援策

適用させる方向で進める

を知りたいという心境だと  
思う。村長はネットの検証  
などしているのか。

**村長** ホームページ上では、  
移住定住の情報誌を簡略し  
た形で掲載しているので、  
見直しをかけて詳しい内容  
にしてリニューアルしてい  
きたい。

うのは多々あると思うが。

**村長** 11月3日に開催する  
ということで聞いている。

会員の方には、詳しい情報  
誌もあるので、コアニティ  
ーのパンフレット等含めて  
PRし、移住定住につなげ  
ていきたい。

**高校生の福祉医療制度**

**伊藤議員** 村の福祉医療制

度は、乳幼児から中学生ま  
で無料となっている。北  
秋田市では、今年の8月か  
ら高校生も対象に、医療機

関と薬局毎に1カ月500  
円を超えた部分は市で補助  
しているが、わが村でも検  
討するべきでは。

**村長** 高校生を対象に福祉

小阿仁へ移住したいという  
方がおり、ホームページの  
「我が村の移住、定住施策」  
について調べたが、抽象的  
と言わざるを得ないと感じ  
た。

移住や定住希望の方々は、  
その地へ行つた時、どのよ  
うな助成事業の施策や応援

伊藤議員

関東かみこあに会  
(浅草ビューホテル／11月3日)



第21回関東地区かみこあに会  
(浅草ビューホテル／11月3日)

医療制度を適用している県  
内の自治体は、平成30年8  
月から実施している北秋田  
市のほかに、鹿角市、にか  
ほ市、小坂町、藤里町、三  
種町、八峰町の7市町があ  
る。村としても、子育て世

村で対応している制度とい  
うのは大変進んでいると自  
負しているので、その辺も  
変難儀をしていると聞いて  
いる。そういう意味では、  
総会でPRしたい。



赤ちゃんふれあい体験学習会／9月4日  
(村の福祉医療の対象は乳幼児から中学生まで)

代の経済的負担を軽減する  
ため、検討を進めさせてい  
ただきたい。

伊藤議員

北鷹高校を一例

として、村ではバス通学の  
定期券の半額補助を実施し  
ているが、クラブ活動をし  
ている方々が大半である。  
朝は7時頃、帰りは部活が  
終わってから家族が送迎し  
ているという現状で、負担  
になつていて。親としては  
心理的に助かるので、是非  
検討してもらいたい。

質問

## 大胆な定住策で

## 人口減少に歯止めを

村長

動向を調査し村に合った形で対応

制度を設けては。



【佐藤真二議員】

### 通勤助成金制度

佐藤議員 村には通勤通学等定期補助金制度があり、29年度は79万円ほどの助成金が支払われている。県内の自治体では、公共交通機関を利用した方を対象としている例が多いが、他県では自家用車での通勤費として月5千円から1万円を助成している自治体もある。我が村でも、そういう助成

### 定住促進助成制度

村長 通勤通学に対する助成は、確実な公共機関、交通機関等を対象にしている。

今後のことを考える時、もつと使いやすい対応が必要だと考えている。

金額の設定、月払いにするのか、会社が支払いを止めないかなど、色々な問題点が想定されるが、もう少し情報収集しながら前向きに対応したい。

佐藤議員 色々な問題があるかと思うが、是非、検討していただき、会社ではなく個人にしつかり届くような制度を考えてもらいたい。

ないか。

村長 空き家の家財道具の処理、権利関係で所有者が中々手放さないため、空き家バンクに登録してもらえない状況である。

従来の住宅リフォーム支援事業補助金等を活用していただきながら支援をしていきたい。

住宅を新築する場合の対応としては、県の事業で県産材を使用すれば使用面積に応じて最大30万円相当のポイントが受けられるので、嵩上げ等の助成をすることを検討したい。

他市町村では、具体的に上限を設けた形で空き家、新築等、改築も含め、多額の支援策を講じているところもあるので、もう少し調査研究を行い、村に合った形をとらせていただきたい。

佐藤議員 全国の取組を調べてもらいたい。「高速で東京に通つても助成します。ですから移住してください」などと言つて、力を入れていい。1千円、2千円の話をしても上小阿仁には中々来ないとと思う。

剩余金は毎年残っている。しかし、それを支えていく人が減っている。そのところを、しっかりと考えていただき、来年度予算に反映してもらいたい。



現在、定住者向けに活用  
(秋田杉の主産地である村産材を活用した  
住宅／秋田杉の家づくりネットワーク)

## 質問 若者の雇用

### 相談や受入体制の強化を図るべき

村長



【武石辰久議員】

県とのネットワークで構築をめざす

#### 村の後継者である若者の雇用と支援

武石議員

本村の超少子高齢化を乗り越えるために、

若者への雇用の場の確保と支援体制を、今後どのように具体的に実行していくのか。

村長 投資固定資産総額800万円以上に対し、固定資産税相当額の工場誘致奨励金や、従業員一人につき

20万円以内、村内居住の従業員は年額30万円以内とする雇用促進奨励金を制度化して対応している。

また、就農を目指す「農業後継者育成技術習得研修事業」、特產品の開発、販路拡大等に補助する「個人事業者支援事業」、資格取得支援事業」等を設けて対応している。

若者には子育て応援で、

子宝祝金制度、保育料の半額助成、今年度からは給食費の半額助成、小学生の通学バス定期券の全額補助等々で対応している。

4月から運用開始したコアニティーザレンタルームについては、募集をかけながら申し込み有待っている状況にある。誘致等々、村に来ていただけの方々については、村の支援内容をPRしながら、個々の対応を考えている。

個々

今までの村の制度は分かる。雇用の場に結びつく起業支援のコアニティーレンタルームの利用と取組状況は。実績が未だないとすれば、成果を挙げるため、どう取り組んでいくのか。

#### 企業支援は

武石議員

今までの村の制度は分かる。雇用の場に結びつく起業支援のコアニティーレンタルームの利用と取組状況は。実績が未だ

し、併せてアパートも併設している。

村長 移住定住の進んでいい。コアニティーのレンタルームについても、お試し住宅が出来るよう対応している。

住率がいいと聞いている。コアニティーにも、お試し住宅が出来るよう対応している。



農業後継者として畑作営農に必要な生産技術を学ぶ研修生・左が鈴木健斗さん（大林）、右が齊藤恵さん（上仏社）

また、雇用拡大にあたっては、支援制度の啓蒙や移住・定住促進、就労支援や国、県、ハローワーク等関係機関とのネットワークを図り、相談窓口や相談受入体制づくりの強化が必要だと思うが、村長はどう考えれるか。

武石議員 村長は常々、「山が動けば、人が動けば、経済が動けば雇用が生まれる」と言っている。この夏の甲子園、秋田県代表で感動を与えた金足農業高校のチームワークに学び、皆の力を結集すれば、重い宝の山は必ず動くと思う。しかし、山を動かす前に「心」を動かしてもらいたい。

立地条件が功を奏しているのではないかと思っているが、まだ足りないと思っているので、ハローワーク、県とのネットワークも含め、村の相談体制の充実を推進していきたい。

中山間地志向を

さらに生活支援や子ども支援等を徹底し、村に住んでいただきながら村内外の職場へ通勤する形を進めていかなければならないと思うが。

また、雇用拡大にあたっては、支援制度の啓蒙や移住・定住促進、就労支援や国、県、ハローワーク等関係機関とのネットワークを図り、相談窓口や相談受入体制づくりの強化が必要だと思うが、村長はどう考えれるか。

# 議会の動き

第5回

## 議員全員協議会

9月7日(金)

協議案件

- ・あきた北央農協上小阿仁支店の存続について

### 再度の全協開催を要請 書面での提示が必要



土地、建物の購入案について協議

J Aあきた北央とJ A鷹巣町との協議の中で、9月末までに財産変動明細書の作成が求められていることになりました。土地、建物の購入案は、土地を含め鑑定評価のあつた事務所・店舗と低温倉庫を994万円で購入。維持管理や修繕は全てJ A側で負担し、これまで通り使用させるというものです。

また、土地については購入しない建物5棟を含め、年間46万3000円で貸し付けるという内容です。

議会からは、解体に関する計画や広域合併後の支店の存続など、書面で交わすべきとの意見が出され、再度の協議の場を求めました。

あきた北央農協上小阿仁支店存続に伴う土地・建物の購入案の議決は、12月までに結論を出すスケジュールになりましたが、J Aあきた北央とJ A鷹巣町との協議の中で、9月末までに財産変動明細書の作成が求められていることになりました。

前回の指摘を受け、あきた北央農業協同組合との不動産売買等に関する合意書が示されました。小林村長からは「不動産鑑定の評価の中では価値のあるもの、尚且つ利活用計画のあるものについて購入したい。事務所はこれまで通り、倉庫は農機具の格納庫として活用したい」と説明を受けています。今後、立地条件もいいので、将来を見通した形で過疎計画の見直しを図りながら対応していく」と購入案に理解を求めていました。

JAあきた北央上小阿仁支店の存続について、JAとの交渉記録を求めてきましたが、不存在といううことで協議が一時中断。休憩後、小林村長が「今後は、JAとの交渉記録を記録するようになります」と述べました。

J A支店存続を支援購入費賛成多数で可決

第6回

## 議員全員協議会

9月13日(木)

協議案件

- ・あきた北央農協上小阿仁支店の存続について

### 交渉記録の提示を要望

JAあきた北央上小阿仁支店存続のための不動産取扱費を含む一般会計補正予算が提案されました。採決を前に、大城戸議員が「村の将来にとって重要な問題にもかかわらず、村長の独断が先行した。具体的な方針や資金計画が示されていない」など、反対の立場で討論。議長を除く7人で起立採決を行った結果、6対1の賛成多数で可決しました。

J Aあきた北央上小阿仁支店存続のための不動産取扱費を含む一般会計補正予算が提案されました。採決を前に、大城戸議員が「村の将来にとって重要な問題にもかかわらず、村長の独断が先行した。具体的な方針や資金計画が示されていない」など、反対の立場で討論。議長を除く7人で起立採決を行った結果、6対1の賛成多数で可決しました。

第5回 臨時会

## 議員全員協議会

9月26日(水)

JAあきた北央上小阿仁支店存続のための不動産取扱費を含む一般会計補正予算が提案されました。採決を前に、大城戸議員が「村の将来にとって重要な問題にもかかわらず、村長の独断が先行した。具体的な方針や資金計画が示されていない」など、反対の立場で討論。議長を除く7人で起立採決を行った結果、6対1の賛成多数で可決しました。



存続となったJA上小阿仁支店

## 今後の定例会日程予定表

区分	会議名	開催年月日	曜日	会期
12月定例会	議会運営委員会	平成30年12月4日	火	3日
	開会	平成30年12月11日	火	
	閉会	平成30年12月13日	木	

# むらのわだい

# 安全運転呼びかける

## 交通死亡事故多発警報発令



#### 交通安全を呼びかけた街頭キャンペーン

北秋田管内で交通死亡事故多発警報が発令され、10月4日、役場前において交通安全街頭キャンペーンが行われました。

この日は、北秋田署をはじめ、本村の交通安全協会や交通安全母の会、交通指導隊など約30人が参加。北秋田市方向に向かう国道沿いで、のぼり旗を掲げながらドライバーに注意喚起を行いました。

参加者たちは、蛍光色のジャンパーを身に着け、啓発用のチラシとポケットティッシュを配りながら、「安全運転をお願いします！」

「気をつけて運転してください」と呼びかけました。



議会を傍聴してみませんか



次回の定例会は12月11日開会予定です。  
9月定例本会議の傍聴者は11人でした

委員長 委員副委員員佐藤大城戸伊藤辰義秀明久高林石北武

編集委員

(佐藤記)

残る任期も半年。8人と少ない議員ですが、最後まで活発な意見を出し合い、少しでも暮らしがやすい村にしたいと思っていきます。

9月定例会は、29年度予算が適正に使われているか、チエックするのが役割ですが、今定例会は他に、JA上小阿仁支店の問題で2度の全員協議会が開催されました。上小阿仁支店は、4度の全員協議会を経て、臨時議会で賛成多数で購入することになりました。勿論、支店はあつた方が良いのですが、反対意見にもありました。今後村の負の財産にならないように、議会も直剣に取り組んでいかなければなりません。

稻刈りも終わり、農家の皆さんは一段落したのではないでしょ  
うか。

# 編集後記